

特許・実用新案登録紹介

発明の名称

半導体集積回路装置

発明の目的

電極接続部分において冷熱が作用しても歪による亀裂が発生しないようにする。

発明の構成

バンプ21は対面される基板12の方向に向けて立ち上がる円筒状の周面と、導体層14に平行に対面する端面を形成する平面部と、かつ上記円筒状の周面と平面部とを結ぶ角部が曲面とからのみ構成され、半田部材22がこの曲面部分を含み円筒状および平面部を包み込むように設定され、対面設定されるバンプの径と、導体層の径との比が“ 1 ± 0.3 ”以内の状態に設定されるようにしたことを特徴とする。

【公告番号】特公平7-93306号

【登録番号】特許第2140314号

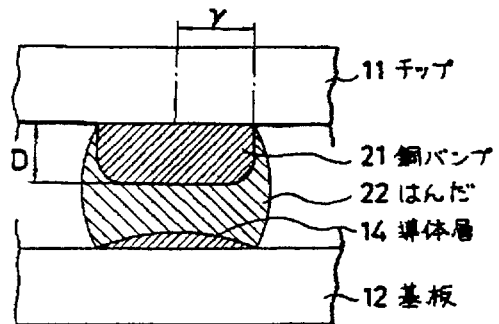
【出願日】1987年8月5日

【発明者】渡辺 雄介 薫田 八郎

田中 和夫 陸井 智

阿部 吉次 真山 恵次

図面



1

発明の名称

自発光指針

発明の目的

樹脂充填が良好であり、指針の指示特性、視認性が良好な自発光指針を提供する。

発明の構成

周壁および底壁を自発光指針の長手方向に沿って有し、周壁および底壁によって形成される空間の上部が自発光指針の長手方向に開口した箱状に形成されて、かつ空間に接する周壁の面が反射色に形成された指針基体20と、指針基体の空間内における指針基体の長手方向に配列される複数のLED素子21と、指針基体の空間内に充填され、LED素子を封止する樹脂23と、下部が長手方向に開口した箱状に形成されており、指針基体の開口側を頂壁内側に対向させた状態で下部開口から指針基体を収納すると共に、頂壁には、頂壁外側から、LED素子の光を指針基体より幅狭の指針形状として認識させる発光部が設けられている指針ケース24とを備えた自発光指針。

【公告番号】特公平8-27198号

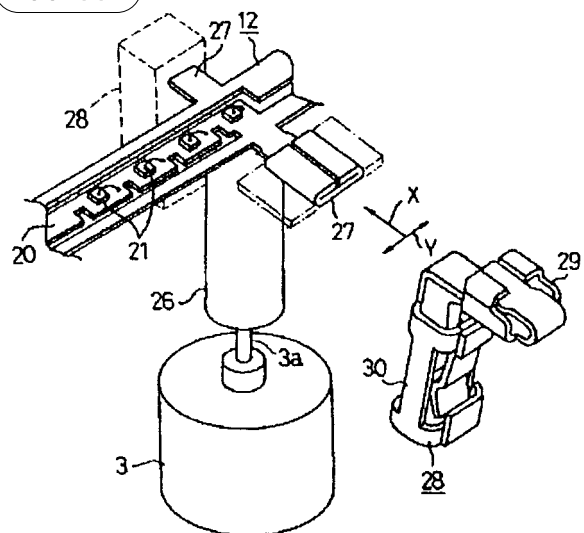
【登録番号】特許第2139455号

【出願日】1990年11月30日

【発明者】加藤 三樹 熊沢 克浩

今泉 博文

図面



2

発明の名称

サーミスタ温度センサ

【登録番号】特許第2789986号

【出願日】1993年2月2日

【発明者】深谷 松雄 永井 準一
葛岡 肇

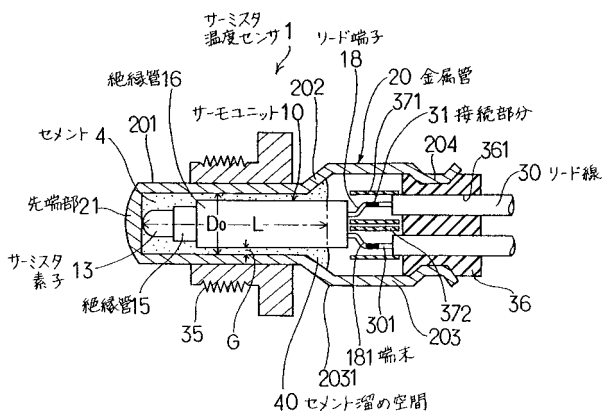
発明の目的

安価で小型なセメントによるリード線間の絶縁低下の生じない温度センサを提供する

図面

発明の構成

金属管20と、金属管の小径部に收容され、サーミスタ素子13を有するサーモユニット10と、リード端子18とリード線30とこれらを電気的に接続する接続部31とを有し、サーモユニットは金属管の小径部内に充填されるセメント4により埋設固定されており、接続部及びリード端子はセメント内に埋設されていない状態にあることを特徴とする。



発明の名称

光学情報読取り装置の結像光学系構造

【登録番号】特許第2871559号

【出願日】1995年11月17日

【発明者】伊藤 邦彦

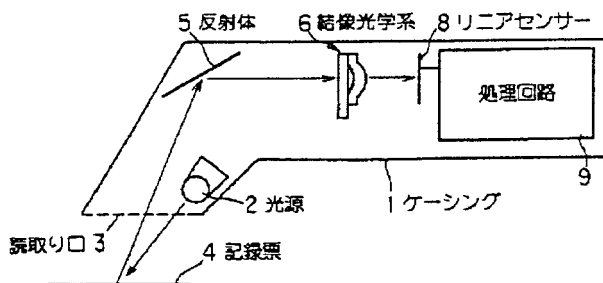
発明の目的

絞りの像の厚みを薄くして、ケラレ現象を解消する。

図面

発明の構成

結像レンズ7と；結像レンズの前方または後方に設けられた透明部材20と；透明部材の前面または後面に設けられ、結像レンズの光学軸上に位置して絞りとなる所定形状の透光開口部が形成された遮光被膜24と；を有することを特徴とする光学情報読取り装置の結像光学系構造。



5

発明の名称

車両用加速スリップ制御装置

発明の目的

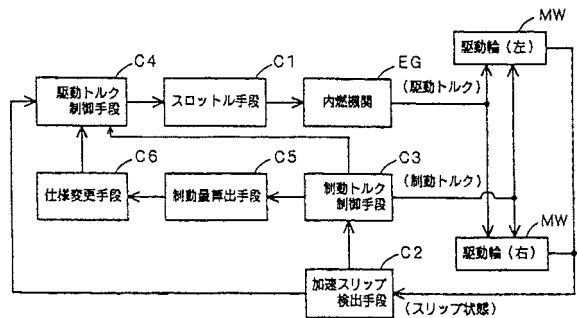
駆動輪の接地する路面 μ に応じて、また、車両の駆動力と制御力との均衡点により、ブレーキ系統に影響を与えることなく、加速特性を充分に引き出す。

発明の構成

加速スリップ検出手段C2により、駆動輪に発生する加速時のスリップ状態を、左右輪それぞれ独立に検出し、その結果に応じて、制動トルク制御手段C3が、駆動輪に与えられる制動トルクを左右輪それぞれ独立に制御する。

【登録番号】特許第2837897号
 【出願日】1989年11月20日
 【発明者】沢田 護 伊勢 清貴
 (共同出願人：トヨタ自動車株)

図面



6

発明の名称

地図表示装置

発明の目的

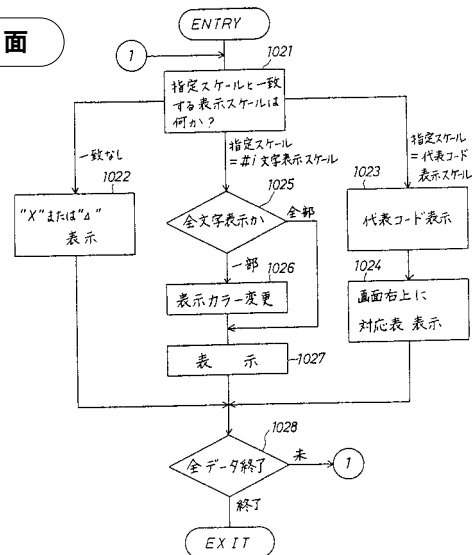
地図のスケールが変化しても所定地点の名称の表示文字の視認性を低下しないようにする。

発明の構成

所定領域の地図を表示させるに必要な地図データ、所定領域内の所定の地点の座標、及びその1つの座標に対応しコードデータとして複数の文字にて構成される表示文字とを記憶した記憶手段と、地図のスケールを指定する指定手段と、地図を表示する表示手段、記憶手段にて記憶している所定地点の座標及び表示文字により表示手段に表示される地図上の座標に対応する位置に、指定手段にて指定されたスケールに係わりなく一定の大きさと複数の文字の表示を行わせる制御手段と備えることを特徴とする。

【公告番号】特公平5-88476号
 【登録番号】特許第2133692号
 【出願日】1985年12月22日
 【発明者】山田 武 藤本 英俊
 伊藤 健三 英 和則

図面



発明の名称

点火コイル

【公告番号】特公平5-44811号
【登録番号】特許第2015967号
【出願日】1984年6月1日
【発明者】宇野 鋭一 近藤 雅洋

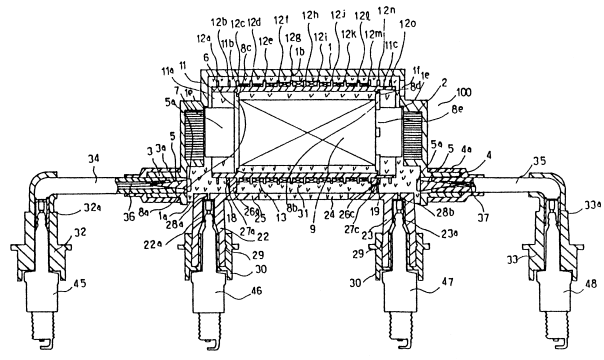
発明の目的

点火コイル実装時の効率を向上する。

発明の構成

1次コイル22, 2次コイル23, 及び鉄心2とを有する点火コイル本体と, 点火プラグに高圧コードを介することなく直接連結される直結プラグキャップ22と, 点火コイル本体内に内蔵され, 直結プラグキャップと2次コイルの一端との間を電氣的に接続する導体と, 点火プラグとは別の点火プラグと連結する他のプラグキャップ32と, 点火本体より外部に導出され, 他のプラグキャップと2次コイルとを接続する高圧コード45を備えることを特徴とする。

図面



発明の名称

帰零式積算計

【公告番号】実公平7-37162号
【登録番号】実用新案第2149475号
【出願日】1989年8月31日
【発明者】中根 秀行 稲垣 光正
小島 正樹

発明の目的

組み付けを容易にする。

発明の構成

帰零シャフト4は, 支持部の隣に, 支持部の径よりも大きい大径部分13aと支持部の径よりも小さい小径部分13bとからなる規制段を備え, フレーム5は, 小径部分を軸受部15の外部から軸受部内に導く案内溝15aを備える。

図面

